



# 企業や団体の活動・サポート とのコラボレーション（素案）

令和元年12月20日  
国勢統計課





# 令和2年国勢調査の広報・周知構想



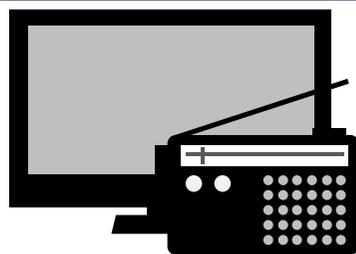
## ①メディアを使ったアプローチ

※メディアミックスによる総合的な広報の実施

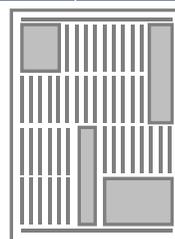


ポスター

メディア広告 (CM)



テレビ・ラジオ



新聞・雑誌



ネット・SNS

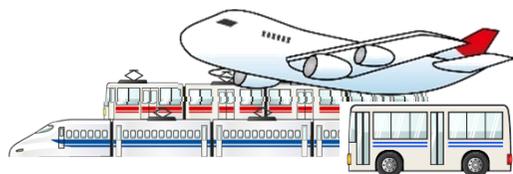


デジタルサイネージ



## ②生活空間からのアプローチ

※企業や団体の活動・サポートとのコラボ



公共交通機関

購買・移動



スーパー・コンビニ・ドラッグストア



通勤・通学



勤め先企業・職場



大学



# 企業や団体の活動・サポートとのコラボ



経済団体等を通じて、各企業・団体の社会貢献活動（CSR）などと協働・連携した国勢調査支援の取組を要請。勤め先企業や団体から国勢調査の回答を促す運動の後押し



## ◎ 企業や団体による国勢調査支援（例）

	社内（グループ企業内）	社外（顧客・一般向け）
調査回答の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 調査期間又はその直前の時期に、社内誌、電子メール、社内放送などで国勢調査の回答を励行・促進</li> <li>☞ 社内掲示板で、国勢調査のポスターを掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 社内エントランス等でのポスター掲示、リーフレット頒布</li> <li>☞ デジタルサイネージ等での画像・動画の提供 ※特定期間における広告媒体の無償・割引価格提供</li> </ul>
インターネット回答の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>☞ インターネット回答の督励</li> <li>☞ 会社・職場でインターネット回答を行うことへの了解・支援（外国人等）</li> </ul>	
調査員活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 社員寮でのポスター掲示、調査活動（調査票配布・収集）の協力</li> <li>☞ 「おつかれさま」「ごくろうさん」声かけ運動の実施（社員・グループ職員への呼びかけ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 社内エントランス等での調査員募集のポスター掲示、リーフレット頒布</li> </ul>



# 国勢調査支援活動をより行いやすいように



国勢調査の支援活動への参画に関し、企業や団体内での検討・調整、社員への周知等を行いやすいように、総務省統計局からの協力依頼文書の発出等を実施

## ① 総務省統計局からの協力依頼文書の発出

各社が令和2年国勢調査を支援する取組を展開するに当たって、総務省統計局から各社に対して協力依頼の公文書を発する。

## ② 「国勢調査サポーター企業」の紹介

令和2年（2020年）5月を目途に国勢調査2020キャンペーンサイトに「国勢調査サポーター企業」を紹介するコーナーを開設し、各社（バナー等）を紹介。

多くの企業が参加することで他の企業等の参加を促し、業界全体で後押しする気運を高める



- ※バナーからは各企業・団体のトップページやCSRのページなど、企業が指定するWebサイトにリンク
- ※国勢調査オンライン回答システム（約2千万世帯の利用見込み）においてもサポーター企業を紹介
- ※国勢調査サポーター企業の取組に対し、感謝状を贈呈



# 支援活動実施までの段取り（案）



## 第1段：国勢調査サポーター企業の登録依頼

【実施時期：2月下旬～3月上旬頃】

「国勢調査サポーター企業」への登録依頼の文書を発出

## 第2段：広報キックオフイベントへの参加依頼

【実施時期：5月中旬～5月下旬頃】

「国勢調査サポーター企業」に対して、イベントへの参加を依頼

### 広報キックオフイベント（100日前）の開催

国勢調査の円滑・確実な実施に向けて統計局との協働・連携を表明している「国勢調査サポーター企業」を招聘し、広報大使のお披露目、各企業での広報活動要請、素材提供などを行うイベントを開催

開催時期：令和2年6月23日(火)

開催場所：霞ヶ関近郊

所要時間：30分～1時間程度

参加者：数百人～

## 第3段：社内外に向けた広報活動の協力依頼

【実施時期：7月上旬～】

「国勢調査サポーター企業」に対して、広報素材を送付し、実査に向けた広報・周知を依頼

# 取組スケジュール案

